

平成21年5月13日

J-PARC/MLF利用者懇談会 平成21年度第1回幹事会議事録

1. 日時：平成21年5月12日（火）15：00～17：10
2. 場所：京都大学東京連絡事務所
3. 出席者：
福永俊晴、鳥養映子、林眞琴、小池洋二、西田信彦、鈴木淳市、大滝豊（敬称略）
4. 配付資料：
 - (1) 幹事会のシラバス
 - (2) 平成20年度 収支報告書
 - (3) 平成21年度 予算（案）
 - (4) 中性子バイオ・ソフトマターサイエンス ワークショップ企画案 ver0.3a
 - (5) 要望書（案）
 - (6) いばらき量子ビーム研究センターの長期ユーザー用居室の利用希望調査
5. 議事内容：
 - (1) 報告事項について
 - ① 会費納入状況、H20年度収支報告書、H21年度予算について報告があり、H21年度の分科会費は1分科会あたり60千円とするが、H22年度以降の予算は40千円とすること、旅費には講演者の謝金も含まれているとの補足説明があった。
 - ② 09年度総会について、7月6日に九段会館にて開催するとの報告があった。
大学関係者の出張の都合上、研究会+総会のかたちとする。
 - ③ J-PARC 記念式典について、7月6日に九段会館にて開催するとの報告があった。
 - ④ 分科会活動について、ソフトマター・反応分科会は中性子産業利用推進協議会のバイオマテリアル研究会ならびにソフトマター中性子散乱研究会と合同で7月7日に「中性子バイオ・ソフトマターサイエンス ワークショップ」を開催するとの紹介があった。また、電池材料分科会と生命物質分科会も茨城県中性子利用促進研究会や中性子産業利用推進協議会のそれぞれの研究会と合同で研究会を開催したり、共同実験を推進しているとの報告があった。
 - ⑤ J-PARC との連携について、J-PARC センターから鈴木氏（MLF 利用者懇談会の窓口）大友氏（J-PARC 側の相談役）が幹事会にオブザーバーとして参加するとの紹介があった。
 - ⑥ 平成21年度ユーザーズオフィス委員会委員について、中性子は東北大学の大山先生、ミュオンは国際基督教大学の久保先生に就任していただいたとの報告があった。
 - ⑦ MLF 利用者懇談会事務局の担当者について、杉本から大滝に、貝原から三輪に変更したとの紹介があった。

(2) 審議事項について

① 分科会活動の活性化

- ・分科会活動費が少額なので、茨城県中性子利用促進研究会及び中性子産業利用推進協議会と連携して合同で開催する、会場費節約のために会場費が無料の場所（三菱総研、JAEA の東京事務所や上野事務所）を利用するとして毎年1回は開催してほしい。
- ・J-PARC セミナーについては懇談会など外部も参加できるセミナーにしてほしい。
- ・研究会等の情報や J-PARC ニュースを会員に周知するとともに、ホームページに掲載してホームページを充実させることも必要である。

② J-PARC センターとの定例会議の開催

- ・ J-PARC センターへの要望を伝えるために定例会議を設けることとした。

③ J-PARC センターへの要望

- ・ 林幹事から要望書（叩き台）について説明があり、幹事とオブザーバーの要望等を5月27日までに林幹事宛に回答することとなった。

④ いばらき量子ビーム研究センターの長期ユーザー用居室の利用について

- ・ 京都大学原子炉実験所は、いばらき量子ビーム研究センター4階の一室を1年間借用しているとの報告があった。
- ・ 今回の京大の借用申請は JAEA の研究者を通じて行ったが、正式にはどこを通じて行うか調べる必要がある。